

2016年9月期 財務概要

デジタルハリウッド大学

2016年9月期の収支状況

- ・当年度の収入は1,291百万円となり、前年度に比べ41百万円の増収となりました。主な内容は、前年度比学生生徒等納付金32百万円の増収および新入生へのPC・ソフトウェア販売収入16百万円について大学に計上したことによるものです。
- ・当年度の支出は1,191百万円となり、前年度に比べ77百万円増となりました。主な内容は、カリキュラム改革に伴う人件費29百万円および設備拡充その他49百万円の増、大学ブランディング施策による広告費等の13百万円増、PC・ソフトウェア仕入原価13百万円の計上、設置会社内の他事業の収入増により大学事業収入比率が減となり管理部門経費配賦額の前年度比19百万円減によるものです。

以上の結果、収支差額は100百万円（前年度は136百万円）となりました。

過去5年間の推移

単位：百万円

項目	2012年9月期	2013年9月期	2014年9月期	2015年9月期	2016年9月期
収入	1,229	1,228	1,247	1,250	1,291
支出	1,016	1,052	1,117	1,114	1,191
大学事業部人件費	269	267	268	275	302
大学事業部人件費以外	585	616	683	653	722
設置会社管理部門人件費	87	85	80	84	73
設置会社管理部門人件費以外	75	83	86	102	93
収支差額	214	176	130	136	100
収支差額比率	17.4%	14.3%	10.4%	10.9%	7.7%

本表における支出適用方法について

本学は2004年（平成16年）に構造改革特別区域法に基づく規制の特例措置として認定され設立した株式会社立大学です。設置会社のデジタルハリウッド株式会社では、監査法人による外部監査のもと年度決算を確定しております。また、事業部制により各事業部・グループごとの会計を行っております。本表では、文部科学省への設置計画履行状況報告の際に用いた支出配賦方法に基づいて算定を行っております。

- ・設置会社の部門は、収益部門と管理部門に分けられます。大学事業は収益部門となります。
- ・管理部門の経費を、大学事業の売上高が全社売上高に占める割合に基づき配賦率を年度ごとに定め、大学運営に必要な間接経費として上記に配賦計上しております。

※本報告は、設置会社の監査後決算に基づいて作成しております。

以上